

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和5年 3月 1日

事業所名 堀口児童デイサービスセンターひかり 保護者等数(児童数) 24名 回収数 22名 割合 91.6%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18	2	0	2	限られたスペースの中で工夫して安全に留意し、有効活用していきます。また隣接した公園などの活動も取り入れていきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	16	1	0	5	社会福祉士・介護福祉士・保育士や経験2年以上の職員配置となっています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	19	2	0	1	車いすの移動や歩行不安定な方も安全にスムーズに移動できるようスロープ・バリアフリーとなっています。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	22	0	0	0	面談等で保護者のニーズ確認し、本人の課題に着目し計画作成しています。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	17	2	0	3	曜日によって固定している活動もありますが、調理・制作・季節の行事等を組み込みながら変化のあるスケジュールを今後も工夫していきます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	4	5	7	今後検討していきたいと思います。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22	0	0	0	契約時にパンフレット使用し説明しています。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状態や課題について共通理解ができているか	22	0	0	0	今年度は希望の保護者と面談のほか、送迎時、連絡帳にて様子を伝えている。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	21	1	0	0	今年度は希望の保護者と面談(19名)の時間を持ちひかりでの活動の様子を伝えたり、家での様子を確認しています。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	15	2	0	3	茶話会の企画がうれしいですとお言葉もいただきましたが今年度はコロナ過もあり2回しか実施できませんでした。親子行事も実施できませんでしたが、連携できる場を作っていきたいと思います。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	19	0	0	3	苦情解決では第三者委員制度を設け、公平な苦情解決を目指しています。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	21	0	0	1	連絡帳の活用や口答でわかりやすく説明していきます。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	20	1	0	1	定期的に広報発行し行事の様子を伝えている。ホームページがあることを周知していきます。
14 個人情報に十分注意しているか	20	0	0	2	個人情報の保護に関する方針を事業所内に掲示し、取扱いに気をつけていきます。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	19	0	1	2	各種マニュアルは策定しているが、周知不足ないように今後実施訓練報告書を情報開示していきます。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	20	0	0	2	毎月実施していますが、参加できない児童について実施日を検討していきます。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	21	0	0	1	子ども達が楽しめる療育ができるように努力していきます。
	18 事業所の支援に満足しているか	22	0	0	0	支援方法について日々研鑽し良い支援ができるように努力していきます。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせる実施されることが想定されています。